

兵庫県精神障害者地域移行地域定着支援研修

8月21日、兵庫県民会館で実施された。令和6年度の研修プログラムとしては2回目の研修。相談支援事業所向け研修。どうすれば地域移行・定着がうまくいくのかの全ノウハウ。

豊岡健康福祉事務所の柳所長、相談支援専門員、ピアサポーターの講義があり、その中で耳にとまった語句が、「たまたま精神の病をもっている」という表現。「たまたま」障害者として日々を生活しているのは、私の人生であって、ただの「ネタ」、そう考えたら少し楽になるところもあるかもしれない。医療保護入院で入院しても、症状があっても退院してもいいのだ。

地域で生活している私たちピアサポーターが、病を持っている当事者が仕事をする事で、その事実を形にしたい、と思う。講義の後、グループワークが行われたが、今後どうやってピアサポーターを見つけるか、地域によってはそれが問題となっている。病院にポスターを貼る、という意見にうなずいてしまう。就労したいという思いを持ち生活していて、刺激を受けるところのある一日になった。(N)

「グループホーム紹介」

神戸市北区藤原台や有野、西宮市山口町にあるスカイグレイスを紹介します。

ペットと暮らせるグループホームで犬と一緒に暮らすことができます。施設長竹内さんの思いとしては、「永く、愉しく、仕合わせに」です。

「永く」・・・心身ともに健やかに自分自身を制御し笑顔でいる時間を永く過ごす。

「愉しく」・・・自分自身の持つ力を最大限に発揮して未来を切り拓くと人生が愉しくなる。

「仕合わせに」・・・様々なことが重なり合って物事は成り立つことを知り、他者からの感謝を喜びとし自分自身を仕合わせに導く。



徒歩10分圏内にスーパーなどがあり、比較的静かな住宅街で過ごしやすい。ドッグセラピーなど癒しの効果を感じることができる。

スタッフが朝、晩、夜間いるので安心です。外観や1日のスケジュール(例)は写真。

私は全てのグループホームに見学に行きましたが、3か所ともリフォームされておりきれいでトイレが1、2階にあるので、安心です。施設長も世話人も話しやすく、相談に乗ってくれてご本人と一緒に考えてくれます。

4棟目のグループホームも近々開所できるようすすめていると聞いています。ご興味がある方は、一度連絡してみてください。080-9005-0006竹内さんまで (O)

1日のスケジュール(例)

6:00	起床支援
7:00	朝食(提供)
8:00	身支度・出勤準備
9:00	出発(お見送り)
10:00	
16:00	帰宅
17:00	
18:00	夕食(提供)
19:00	
20:00	入浴・洗濯・服薬等
21:00	相談支援他
22:00	消灯





「聖なるあきらめ」が人を成熟させる(鈴木 秀子)

note(投稿アプリ)で、たまたま私のフォローしている方がこの本を紹介していた。

「読んでみたい!」と思い、購入。「あきらめ」という言葉には、どうしても消極的なイメージを抱いてしまう。この本の中で、「あきらめ」とは二つのとらえ方がある。現状を把握するために明らめること、変えられないことは執着せず諦めること。日常生活をしていて、どうしても頭から離れないことがあり、何をしても気になり楽しくない。「幸せな日常」を送ることは難しい。日常を離れて本を読むと、新しい世界が広がり集中できる。

明らめる(はっきりと自覚する)、諦める(執着しない)。心の奥底にある欲望をしっかりと明らめて(意識をして)、目先の小さな欲はうまく諦めて、「最善の道」を選んでいきたい。自分自身に障害を持ち、どうしても変えることのできないことが私はある。34年間、もしかしたらもっと幼い時から私にまわりついていて、「『生きるとは、そういうものなのだ』と明らめる」。そういった考え方もあるのだ、と知る良いきっかけになった本だった。(N)



甥っ子が初めての体験を満喫
見るのも好奇心旺盛な感応力
笑ひ止まずば抜く手も見せず
夢見るほど恋焦がれた出逢い

神戸フルーツフラワーパークにて

雲外蒼天(うんがいそうてん)

去る8月24日久しぶりに旦那さんとナイトマーケットinフラワータウンというイベントがあり一緒にお出かけをしました。小学生以下の家族連れの方がたくさんいて賑わっていました。旦那さんは昔から懐かしいりんご飴を探していましたがありませんでした。そのかわりにかき氷屋さんがあったのでふたりでかき氷を食べて帰りました。また、こういうイベントがありましたら一緒にお出かけしようと思います。(Y)

『不安をのりこえて!!』

ピアサポーターが中心になって作った改訂版『不安をのりこえて』ができています。入ご希望の方はあすなろまでご連絡ください。(編集部)

